

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.282

Q.

物価上昇による「お金の価値の目減り」に対処する方法は？

A.

対処方法の一つに資産運用があります。お金の価値を維持するために、金融資産に占める「運用資産の割合」と「必要な利回り」を考えていきましょう。

◆ 仮に、物価が継続的に年2%上昇する中、何も対処しなかった場合には、実質的なお金の価値は減少してしまいます。こうしたお金の価値の減少への対処方法の一つとして資産運用があります。ただし、金融資産に占める「運用資産の割合」によって、お金の価値を維持するための「年間収益率（必要な利回り）」は変わってきますので、「運用資産の割合」を考えていくことが重要です。

物価が年2%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

（表内の単位：万円）

〈 1,000万円に占める運用資産の割合（横軸） 〉

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	924	927	928	930	932	938	944	949	952
2%	924	932	935	939	947	962	977	992	1,000
3%	924	937	943	949	962	987	1,012	1,037	1,050
4%	924	942	951	960	977	1,013	1,049	1,084	1,102
5%	924	947	959	970	994	1,040	1,086	1,133	1,156
6%	924	953	967	982	1,010	1,068	1,126	1,183	1,212
7%	924	959	976	993	1,028	1,097	1,166	1,236	1,270
9%	924	971	994	1,018	1,065	1,159	1,253	1,347	1,394
11%	924	984	1,014	1,044	1,105	1,225	1,346	1,466	1,526
13%	924	998	1,036	1,073	1,147	1,296	1,445	1,594	1,669
15%	924	1,014	1,059	1,104	1,193	1,373	1,552	1,732	1,822

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約924万円に！

300万円（30%）を運用した場合、約6%以上の年間収益率で運用しないと、お金の価値は減少してしまう

（注） 上記は年2%の物価上昇が5年間続くと仮定。また、運用資産はそれぞれの収益率で運用し、運用資産以外は2026年6月16日に公表された国内大手銀行（みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行）3行の変更後の円普通預金金利の利率0.4%として算出した場合のシミュレーションです。

（出所） 各銀行の公表データ等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※ 上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※ この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

物価が年3%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

〈 1,000万円に占める運用資産の割合（横軸） 〉

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	880	883	884	885	888	893	899	904	907
2%	880	887	891	894	902	916	931	945	952
3%	880	892	898	904	916	940	964	988	1,000
4%	880	897	905	914	931	965	999	1,033	1,049
5%	880	902	913	924	946	990	1,035	1,079	1,101
6%	880	907	921	935	962	1,017	1,072	1,127	1,154
7%	880	913	929	946	979	1,045	1,111	1,177	1,210
9%	880	925	947	969	1,014	1,104	1,193	1,283	1,327
11%	880	937	966	995	1,052	1,167	1,281	1,396	1,454
13%	880	951	986	1,022	1,093	1,235	1,377	1,518	1,589
15%	880	966	1,008	1,051	1,137	1,308	1,479	1,650	1,735

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約880万円に！

500万円（50%）を運用した場合、約6%以上の年間収益率で運用しないと、お金の価値は減少してしまう

物価が年5%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

〈 1,000万円に占める運用資産の割合（横軸） 〉

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	799	802	803	804	807	811	816	821	823
2%	799	806	809	812	819	832	845	859	865
3%	799	810	816	821	832	854	876	897	908
4%	799	815	822	830	846	876	907	938	953
5%	799	819	829	839	860	900	940	980	1,000
6%	799	824	837	849	874	924	974	1,024	1,049
7%	799	829	844	859	889	949	1,009	1,069	1,099
9%	799	840	860	881	921	1,002	1,084	1,165	1,206
11%	799	851	877	904	956	1,060	1,164	1,268	1,320
13%	799	864	896	928	993	1,121	1,250	1,379	1,444
15%	799	877	916	955	1,032	1,188	1,343	1,498	1,576

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約799万円に！

900万円（90%）を運用した場合、約6%以上の年間収益率で運用しないと、お金の価値は減少してしまう

(注) 上記は年3%、年5%の物価上昇が5年間続くと仮定。また、運用資産はそれぞれの収益率で運用し、運用資産以外は2026年6月16日に公表された国内大手銀行（みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行）3行の変更後の円普通預金金利の利率0.4%として算出した場合のシミュレーションです。

(出所) 各銀行の公表データ等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。